

行政視察報告

活かそう我が町に

10月17日から19日にかけて、常任委員会合同視察研修として北海道内の2町に行ってきました。

☆総務厚生常任委員会

ひがしかわ

東川町

- ・人口 8313人
- ・世帯数 3879世帯
- ・面積 247km²

視察先として選んだ理由

定住人口確保対策や国際交流、インバウンドの推進などの先進地だからです。

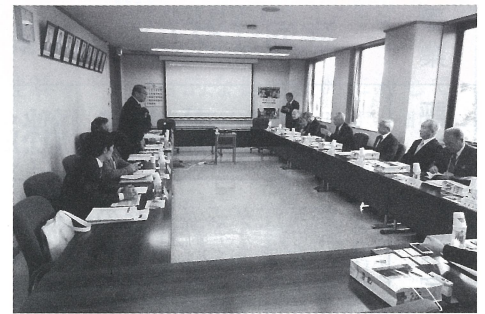
写真の町宣言！

東川町は北海道のほぼ中央部に位置し、日本最大の自然公園である「大雪山国立公園」の区域の一部になっています。

昭和60年6月1日の「写真の日」に、世界にも類のない「写真の町」宣言をしてから33年経過しています。

写真の町「33年」の成果

- ① 定住人口、交流人口、起業の増加
- ② 写真文化に関する財産の蓄積
- ③ 国内外と写真文化を通じた交流の継続
- ④ 写真関係ネットワークの広がり
- ⑤ 報道・雑誌紹介による知名度の向上
- ⑥ 東川スタイルの定着
- ⑦ 写真やイベントに関するノウハウの蓄積



▲ 会議室で説明を受ける議員

207区画完売！

旭川空港から約10分、JR旭川駅から約30分と、旭川市のベッドタウンとして立地条件が良く、分譲宅地を8か所207区画造成し、それらを完売するなど、各種の移住、定住人口確保施策の成果が表れています。

世界につながる

国際交流やインバウンドの推進に関して次の①～⑥の事業を展開するなど世界の東川を目指しています。様々な交流が実を結び、世界各地で「ひがしかわ」が広がり始めています。

- ① 海外都市との友好提携
- ② 留学生の受け入れ
- ③ 日本語学校の開設
- ④ 多様な国際交流事業
- ⑤ JETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）による外国人職員の配置
- ⑥ 海外事務所の設置

人口増1300人

以前の東川町の人口は減少傾向が続き、平成5年度には6973人と、7000人を切りましたが、6年度以降、「写真の町」事業や各関連施策の実施によって、26年11月4日に目標人口8000人を突破しました。30年9月現在の人口は8313人です。



▲ 世界各国の物産品などを展示

《まちづくりの主な成果》

20年度から29年度までの変化

- ★観光入込客数 83万7千人 → 148万9千人
- ★飲食店等の数 16軒 → 45軒
- ★税収額 8億4690万円 → 9億2160万円

313人のため、約1300人の人口増という素晴らしい成果です。

写真を媒介にして、知名度の向上や東川ファンの増加、魅力の再認識、地域消費の拡大、人材の育成・供給などが相互連鎖することによって、定住人口や交流人口、起業が増加し、1300人もの人口増加に結び付きました。そのにぎわいと活力あふれる町の姿は、本町も大いに参考にすべきものと考えます。